

令和元年度 早明浦ダム再生事業費等監理委員会

早明浦ダム再生事業について

令和元年 7 月

(独) 水資源機構

目 次

- 1. 事業概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・P. 2～P. 6
- 2. 事業の進捗状況・・・・・・・・・・・・・・・・P. 7～P. 8
- 3. 平成30年度の実施内容・・・・・・・・・・P. 9
- 4. 令和元年度の実施内容・・・・・・・・・・P. 10

1. 事業概要



早明浦ダム



増設放流設備

放流設備の増設イメージ

- 水系河川名
吉野川水系吉野川
- 場 所
右岸：高知県 土佐郡 土佐町
左岸：高知県 長岡郡 本山町
- 諸 元
既設：堤高 106m, 総貯水容量3億1,600万m³
再生：放流設備の増設、容量振替
- 工 期 2018年度～2028年度
- 総事業費及び進捗状況
総事業費 約 400 億円
2018年度当初予算額 約 3.0 億円
- 2019年度当初予算の概要 【約 3.7 億円】
施工計画検討、水理水文調査 等

1. 事業概要

◆沿革

- 平成17年度 吉野川水系河川整備基本方針 策定 (H17. 11. 18)
- 平成21年度 吉野川水系河川整備計画 策定 (H21. 8. 28)
- 平成29年度 吉野川上流部における治水対策の計画段階評価 (H29. 7. 3)
吉野川上流部における治水対策の計画段階評価 対応方針決定 (H29. 7. 14)
- 平成30年度予算に係るダム事業の新規事業採択時評価 (H29. 8. 10)
平成30年度予算に係るダム事業の新規事業採択時評価 対応方針決定 (H29. 8. 29)
- 吉野川水系河川整備計画【変更】 (H29. 12. 20)
吉野川水系における水資源開発基本計画（一部変更） (H30. 3. 27)
早明浦ダム再生事業に関する事業実施計画 認可 (H30. 3. 30)
- 平成30年度 早明浦ダム再生事業着手 (H30. 4. 1)
平成30年度早明浦ダム再生事業費等監理委員会の設立・開催 (H30. 8. 9)
- 令和 元年度 吉野川水系における水資源開発基本計画（全部変更） (H31. 4. 19)
令和元年度早明浦ダム再生事業費等監理委員会の開催 (R元. 7. 18)

1. 事業概要

◆事業の目的

＜吉野川における治水事業の目標＞

①達成すべき政策目標

- 吉野川の治水安全度の向上

②具体的な達成目標（吉野川水系河川整備計画）

- 戦後最大流量を記録し、甚大な浸水被害を発生させた平成16年10月の台風23号と同規模の洪水に対し、吉野川の氾濫による浸水被害を防止する。

＜早明浦ダム再生事業の目的（事業実施計画）＞

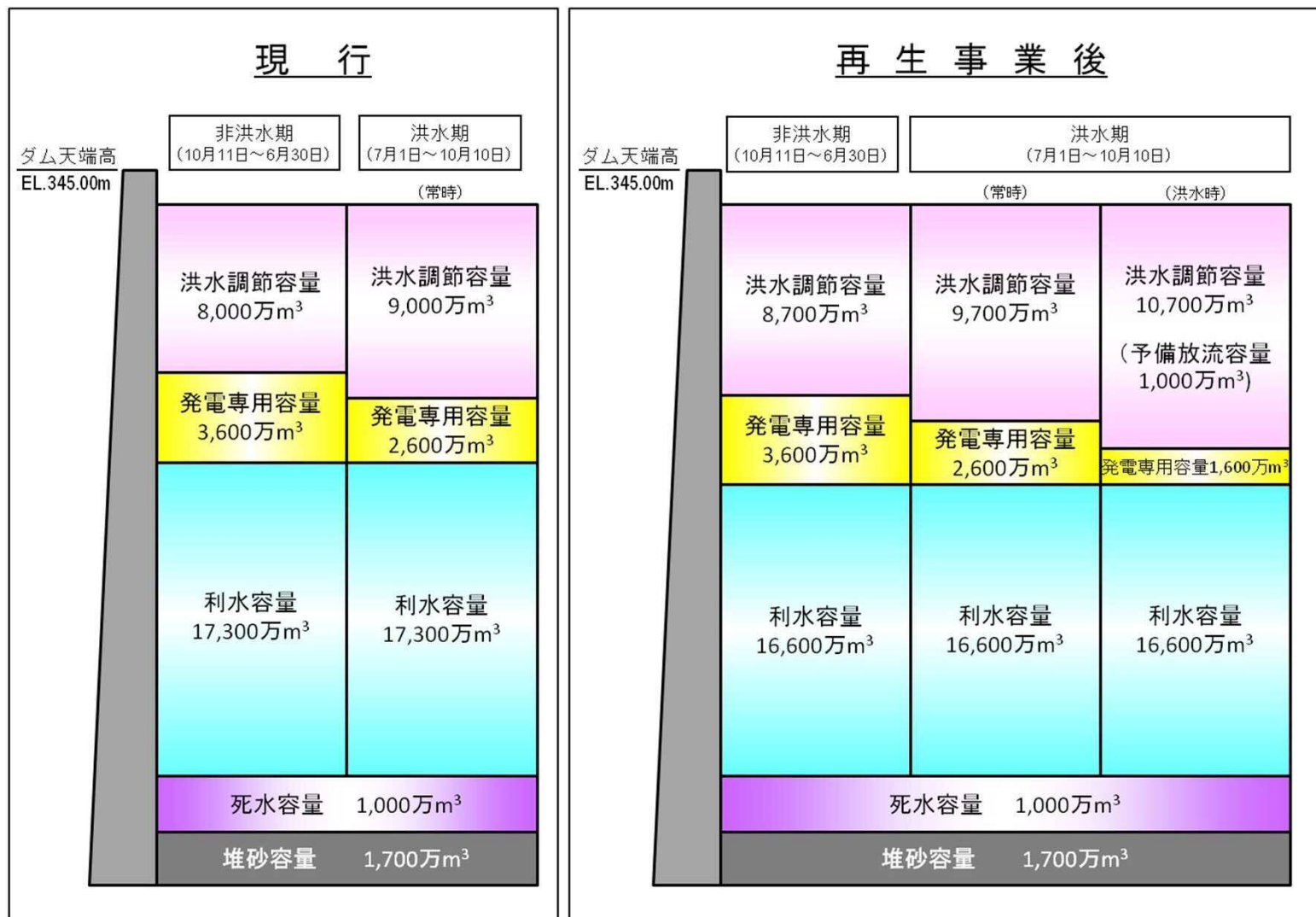
③事業の目的

- 水の安定的な供給を確保することを目的として、「吉野川水系における水資源開発基本計画」に基づき整備した特定施設である早明浦ダムについて、治水機能を向上させる改築事業を行い、吉野川の洪水による被害の軽減を図る。

1. 事業概要

◆貯水池容量配分の変更

現状の利水安全度を確保しつつ、不特定補給の運用を見直すことに伴って利水容量から洪水調節容量に振り替えることで容量を確保するとともに、予備放流方式の導入により、現況の洪水調節容量を9,000万 m^3 から10,700万 m^3 に増大。

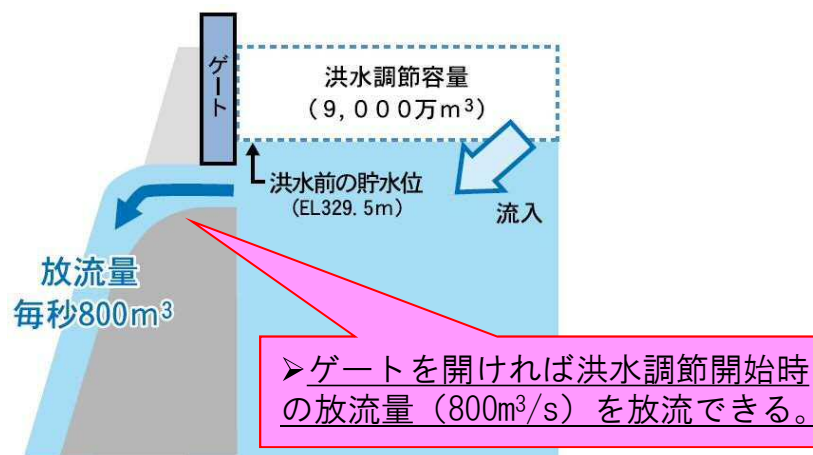


1. 事業概要

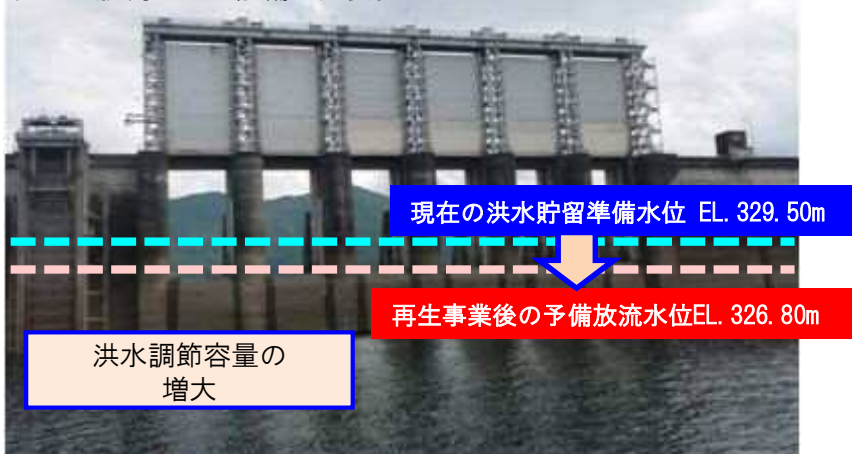
◆洪水調節能力の増強

水位低下に伴って不足する放流能力を補うため放流管を増設。

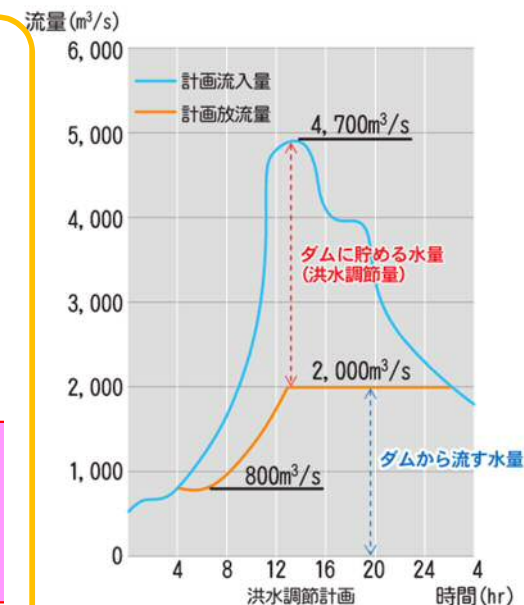
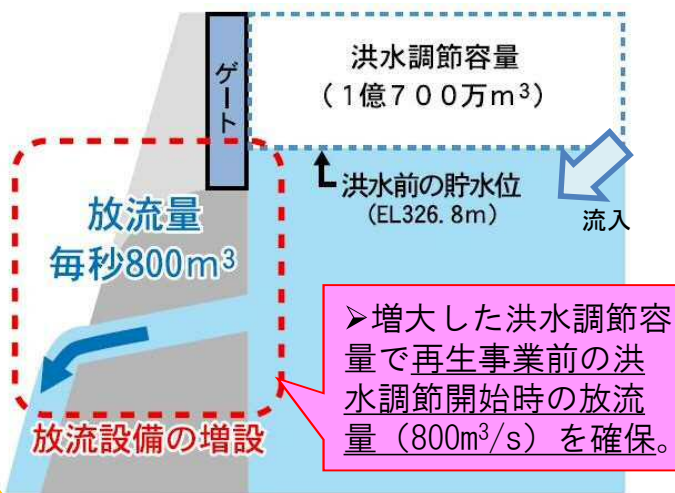
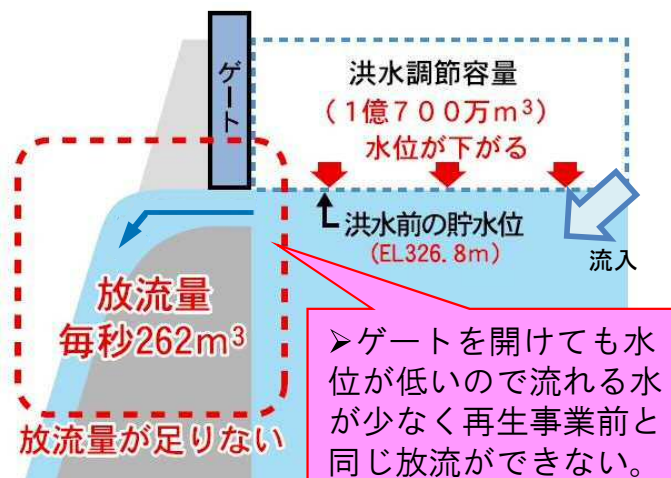
再生事業前(現状)の放流イメージ



増大した洪水調節容量を活用するため、予備放流を行い、洪水になるまでの間、ダムに水を貯めないようにするため低い貯水位でも放流できる設備が必要。



再生後の放流イメージ

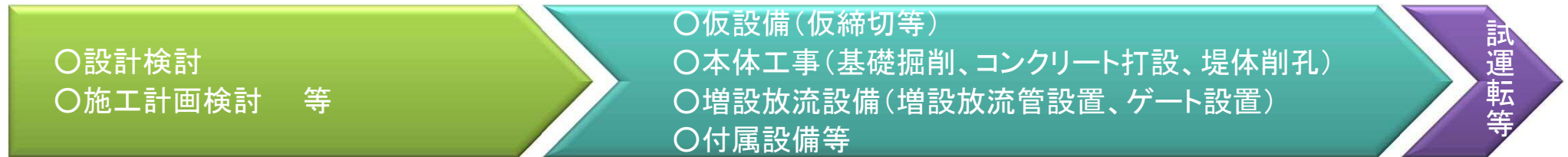


洪水調節計画図

2. 事業の進捗状況

①実施手順

現時点
▼



②進捗率

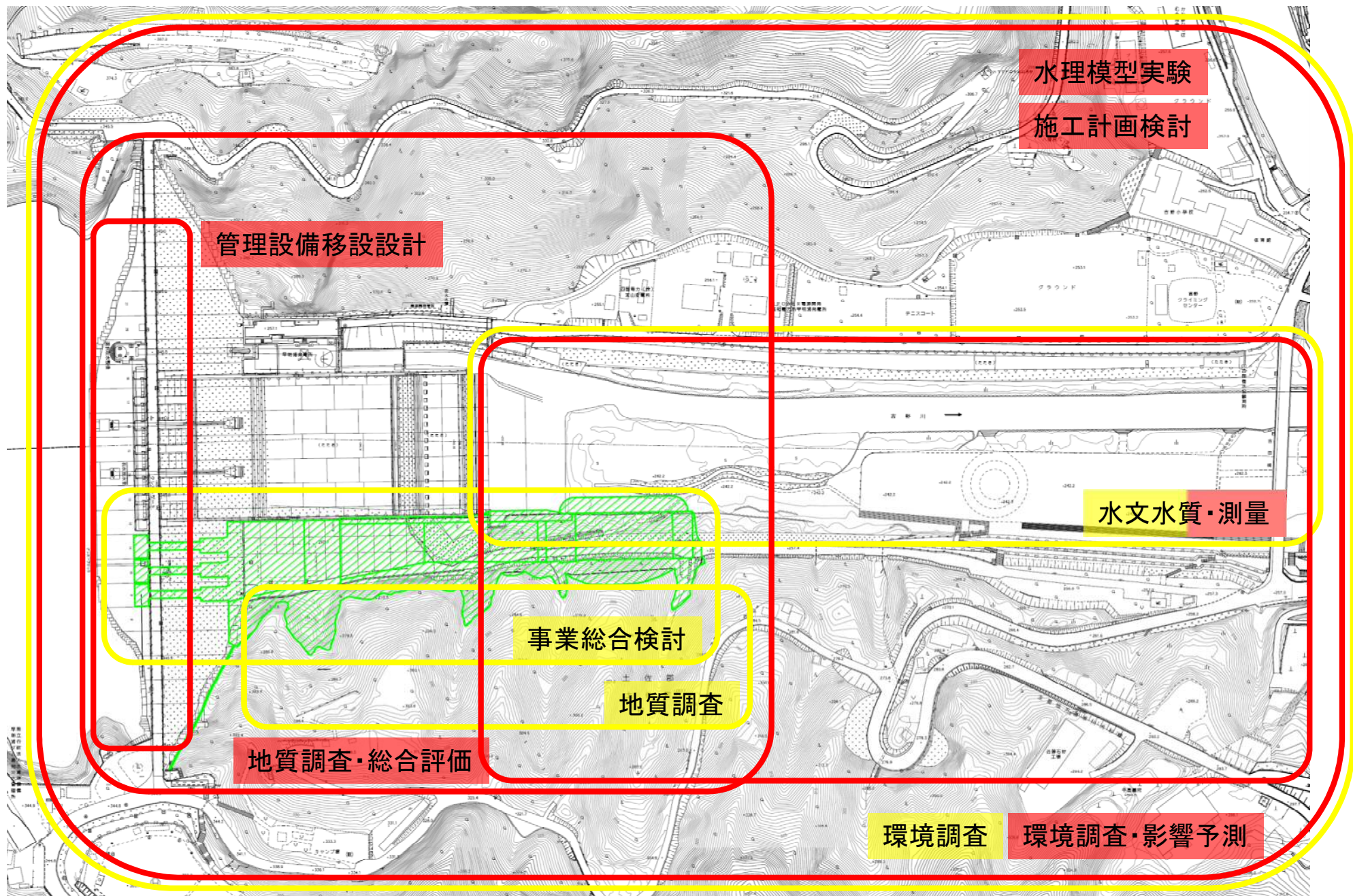
事業費	←0.75% (3.0億円／400億円)		
補償	一般補償 0.0%	公共補償 0.0%	特殊補償 0.0%
増設放流設備 及び関連工事	本体工事 (掘削0.0%、堤体削孔0.0%、コンクリート打設0.0%)	放流設備 0.0%	付属設備等 0.0%

(2019年3月末時点)

2. 事業の進捗状況

H30年度

R1年度



3. 平成30年度の実施内容

▶平成30年度事業費・・・300百万円

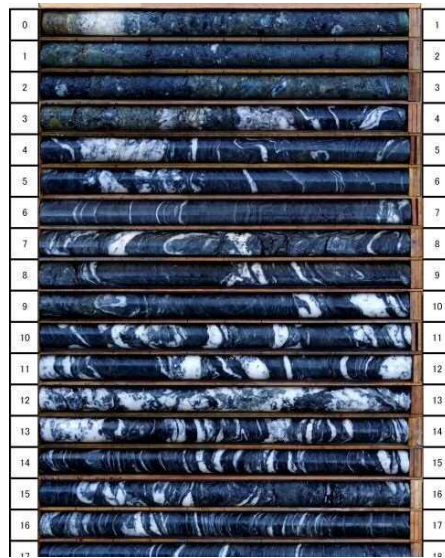
＜工事に関する施工計画や仮設計画の検討＞

- ①施工事例（鶴田ダム）の実績を取り入れた設計及び施工計画の概略検討を実施。
- ②上流仮締切などの仮設計画の概略検討を実施。

＜地質調査など調査＞

- ①新たに増設する減勢工部分の基礎地盤の状況を確認するため地質調査を実施。
- ②ダム再生に伴う工事の影響を検討するため、早明浦ダム周辺の環境調査を実施。

地質調査



環境調査



魚類調査



昆虫類調査



ほ乳類調査



鳥類調査

4. 令和元年度の実施内容

▶令和元年度事業費・・・約374百万円

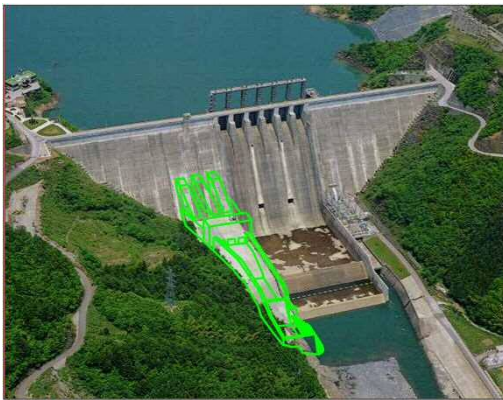
＜施設設計や施工計画の検討＞

- ①水理模型を製作し、設計案の妥当性の確認、詳細設計に必要なデータの収集を行う。
- ②施工設備の組み合わせ、上下流の仮締切の検討等を行う。

＜地質調査など調査＞

- ①増設放流管、ゲート設備等の基礎の地質調査を実施し、設計の基礎資料とする。
- ②ダム再生に伴う工事の影響を検討するため、引き続き、環境調査を実施。
- ③増設放流管を使用した場合におけるダム貯水池及び下流河川の水質を予測するため、シミュレーションモデルの構築、予測検討を行う。

水理模型実験

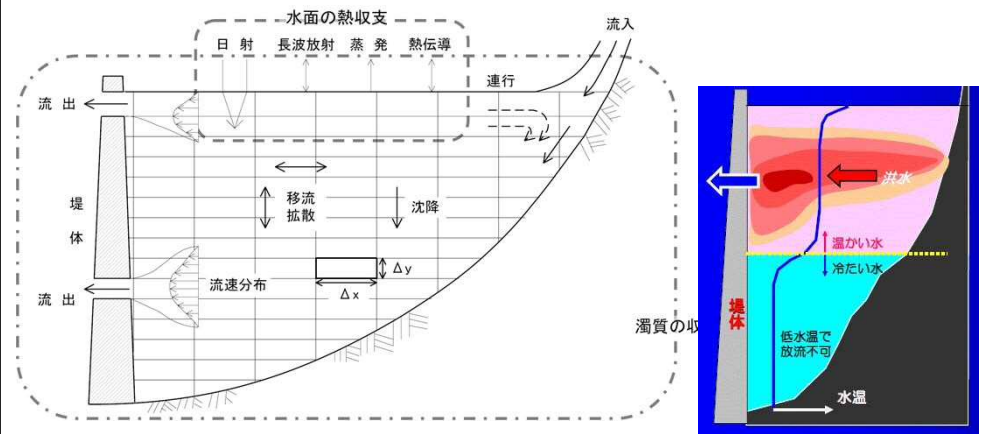


減勢工設置イメージ



水理模型実験
(他ダムの事例)

水質影響予測検討



シミュレーションモデルのイメージ

濁度の高いところから放流することで貯水池の濁水長期化軽減が期待される